

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

世界的なリスク回避の動きも一旦後退。セントルイス連銀ブラーード総裁の「FOMC、量的緩和の終了延期を検討すべき」との発言に加え、公表された米経済指標が軒並み良好な数字となったことが、センチメントのさらなる悪化を下支えした。足許で急激に進行したドル売りも平静を取り戻し、全般的に反転上昇。この影響を受け、ドルレアルスポット相場も取引開始直後に2.5の大台を上抜けた。しかし、この水準での上値追には抵抗感も見られ、引けにかけては2.47台前半まで下落。ボベスパ株式指数は続落。2営業日合計の下げ幅は6.4%となり、週明けの上昇分を全て失った。

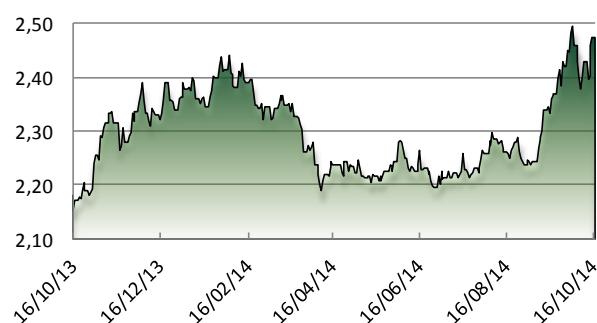
グローバルな株安が新興国市場全体へも波及しており、ドルレアルは再び2.5の節目の水準へ一時上昇。Datafolhaが示した世論調査において、ネベス氏の不支持率が前回対比高まっていることも、レアル売りを誘発している要因と見られる。シルバ氏による正式な支持表明も、ネベス氏の支持率上昇に寄与しておらず、ルセフ陣営によるネガティブキャンペーンが、第1回投票時と同様に効果を発揮している。ペトロプラスへの贈収賄疑惑の影響も限定的であり、マーケットは一転してルセフ大統領再選シナリオを警戒し始めている。本日はSensusの世論調査結果が公表予定。両者の拮抗した状況が示されれば、レアル売りに傾く公算が高い。昨日中銀が公表した8月経済活動指数は、前月比0.27%増と、市場予想を若干下回った。なお、前回7月分は、1.50%から1.52%へ上方修正されている。

マーケットデータ

Indicator	Unit	10月15日	10月16日	前日比	9月16日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	43,11	43,01	-0,10	45,97	-2,96
USD / BRL Spot	BRL	2,4576	2,4727	+0,0151	2,3317	+0,1410
USD / JPY Spot	JPY	105,92	106,33	+0,41	107,13	-0,80
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	56.135	54.298	-1.837	59.115	-4.817
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	162,8	165,7	+2,9	142,3	+23,4
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	11,56	11,64	+0,08	11,50	+0,14
DI Future Jan16 (金利先物)	%	11,95	12,03	+0,08	11,50	+0,53
3 Months US Dollar Libor	%	0,228	0,228	+0,000	0,234	-0,006
CRB Index (国際商品指数)	Index	271,3	272,7	+1,4	284,4	-11,7

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

